

武雄市行政改革プランの主な成果〔平成26年度〕

本市では、平成28年度以降には合併支援措置が縮小・廃止されるなど収支状況の悪化が懸念されることから、平成23年に第2次行政改革プランを策定しました。平成26年度についても、前年度に引き続き、様々な取り組みを実施しました。

行政サービスの最適化

事業の「選択」と「集中」



武雄保育所の民営化

◆平成26年4月1日より、武雄保育所を民営化しました。

組織と人

組織改革



「安全安心課」「お住もう課」「スマイル学習課」の新設

- ◆大規模災害や局地的災害などに備え、平素からの防災対策の取り組みを強化するため、「安全安心課」を設けました。
- ◆武雄市に移り住んでいただく方々や、武雄市で起業しようとする方々を支援するため、「お住もう課」を設けました。
- ◆反転授業やICTを活用した学校教育を推進するため、「スマイル学習課」を設けました。

定数管理



職員数 10名減

◆職員数を削減するなど人件費を抑制しました。 約7,500万円削減

財政基盤の強化

歳出の抑制



市営住宅の指定管理者導入に向けて

◆平成27年度から武雄市営住宅を指定管理者へ委託するための手続きを行いました。

自主財源の確保



約7,800万円の効果

◆滞納整理強化により徴収率が0.4%UPしました。 約2,100万円の増収
◆遊休資産（土地・建物）を売却しました。 約5,700万円の増収

◆武雄北方インター工業団地に「大同メタル工業（株）」の進出が決定しました。

公営企業・特別会計等の経営健全化



約6,400万円の効果

- ◆上水道事業：佐賀西部広域水道からの受水抑制など、約3,600万円の削減
- ◆工業用水道事業：契約水量の増等、約400万円の増収
- ◆土地開発公社：土地の処分等、約1,600万円の増収
- ◆競輪事業：サテライトの包括委託による経費削減など、約800万円の削減